

H. E. L. P. in J A P A N 2 0 0 9

日 時：2009年8月31日（月）～9月18日（金）

開催場所：日本赤十字九州国際看護大学

本コースは赤十字国際委員会（the International Committee of the Red Cross、ICRC）、日本赤十字社、日本赤十字九州国際看護大学、世界保健機関（WHO）が企画し、講義はすべて英語で行なわれます。

■募集対象

主に、医師・看護師・栄養士などの保健医療関係者、環境衛生や疫学あるいは公衆衛生関係者を想定していますが、緊急時の各種支援活動に携わった経験のある方の参加も可能です。すでに70回のH.E.L.P.研修が、世界中で開催され、これまでに127の異なる国籍、20分野以上の専門家2,000人が研修を修了しています。

日本でのH.E.L.P.研修は、アジア諸国、特に紛争や自然災害の被害を受けている国々からの参加者を優先的に受け入れています。

■構成及び目的

H. E. L. P. 研修は Module I、Module II の2部構成になっています。

第1部（H.E.L.P. Module I：Health Emergencies in Large Populations 2週間）

危機に曝されている集団の健康問題に適確な判断を下すために必要な知識の修得を目的としています。人道的活動の基盤となる公衆衛生の基礎を学び、緊急状況下で優れた指導力を発揮するための研修です。参加者は、討議を通じてそれぞれの経験を共有します。

・初期評価 / 計画 ・疫学的手法 ・感染症対策 ・環境衛生と給水 ・食糧と栄養の管理 ・ロジスティクス ・緊急時のヘルスケアサービス ・精神衛生 ・リプロダクティブ・ヘルス ・自然災害 ・人為的災害

第2部（H.E.L.P. Module II：Health, Ethics, Law, and Politics 1週間）

最近の救援活動で増加している倫理的問題に関わる研修です。主な法的手段、特に国際人道法、人権、保健医療専門家の責任と倫理など、人間の尊厳を守る人道的活動の基礎についての研修を行います。

・人道的援助のジレンマ ・基本的人権と健康 ・国際人道法 ・医療倫理と保健医療専門家の責任 ・国連・他NGOとの協力関係

■コース教材

コースに必要な教材は、無料で配布します。

■単位及び修了証

コースを終了すると、H. E. L. P. 研修の修了証が授与されます。

■受講料

受講料は18万円です。これには渡航費（国内旅費を含む）・宿泊費・食事代は含まれません。

■補助金

OECD 未加入国からの受講生については、適宜、渡航費（国内旅費を含む）、宿泊費、食事代を助成します。詳細はH. E. L. P. 事務局にご相談ください。

■宿泊

宿泊は、日本赤十字九州国際看護大学から3kmに位置するグローバルアリーナ内の施設です。同施設には、各種スポーツ用フィールドがあり、インターネットへの接続も可能です。

シングル（バス・トイレ付） 1泊 7,350円

シングル（バス・トイレ共同） 1泊 6,615円

■募集人員

25名

■申込

すでに申込は締め切りました。

H. E. L. P in JAPAN 2009 事務局

〒811-4157

福岡県宗像市アスティ1丁目1番地

日本赤十字九州国際看護大学

コーディネーター

喜多悦子〔学長〕、上村朋子〔准教授〕

アシスタントコーディネーター

石田智恵美〔講師〕、桐明あゆみ〔講師〕

Tel: (0940) - 35 - 7001 (大学代表)

Fax: (0940) - 35 - 7021

E-mail: japanhelp@jrckicn.ac.jp